



**[15] 苔州瑠璃釉袋式精円鉢**

左右19cm奥行15cm高5.5cm

◆瑠璃釉は辰砂釉と並んで苔州を代表する釉薬の一つ。丸味を帯びたフォルムと、使い込みによる時代乗りで落ち着いた発色が美しい。ガタ・窯傷あり。箱付。落款：苔州



**[14] 真柏** 上下20cm左右30cm 鉢/和長方  
◆変化に富んだ幹の芸味を見せつつも、飾りの主木に相応しい落ち着きのある樹姿にまとめられた作品。枝棚はすでに仕上がっており、今シーズンの展示会にも使える完成度である。



**[17] 真柏**

上下25cm左右28cm 鉢/杏興正方

◆変化に富んだジン・シャリの芸味に注目が集まるが、枝棚がもう少し充実すればさらなる風格をまとった樹姿に仕上げるだろう。将来性を秘めた逸品。

**[16] くちなし** 上下16cm左右34cm 鉢/鴻陽正方  
◆左に大きく伸ばした懸崖枝が印象的なくちなし。小枝も細かく充実しており、実成りの姿が楽しみである。



**[19] 井上良斎緑釉下紐長方鉢**

左右15cm奥行10cm高4.5cm

◆明治〜大正期に輸出目的で焼成されたものだろうか。バランスが良く、盆器としての完成度も高い。箱付。落款：大日本・井上良斎



**[18] 九谷一向色絵山水図正方鉢**

一辺10.3cm高8.3cm

◆各面に水辺の異なる景色が描かれた作品。樹との映りを考慮した落ち着いた発色も魅力。箱付。落款：九谷一向



**[21] 山もみじ**

樹高22cm左右39cm 鉢/鴻陽精円

◆およそ小品とは思えないほどたく発達した立ち上がり注目に。雑木らしい優しい風情の枝表現も魅力である。



**[20] 東福寺白釉長方鉢**

左右10.8cm奥行7.8cm高4.4cm

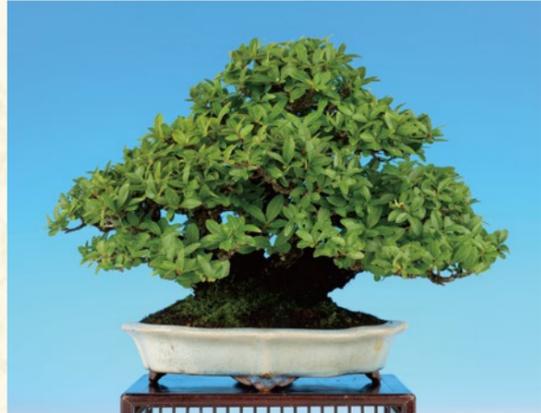
◆深さと奥行きがあり、使い勝手が良い作品。裏葉が施されており、時代乗りも秀逸。箱付。落款：東福寺



**[8] 流苑・月香合作焼締色絵長方鉢**

左右16.6cm奥行13.1cm高4.6cm

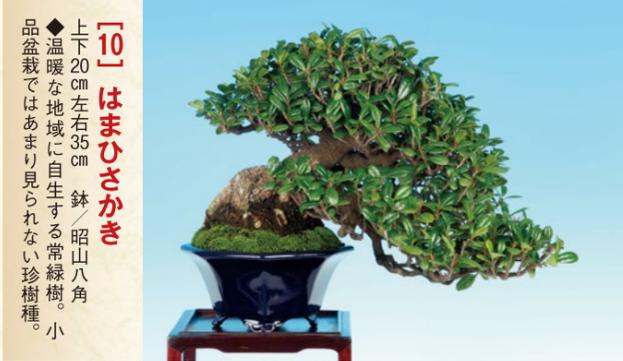
◆流苑が成型を手がけ、月香が絵付けを施した作品で、流苑・月香の落款が捺された共箱も残されている。泥鉢に月香の絵付けが施されたものは珍しい。落款：流苑・月香画



**[7] 橘もどき**

樹高23cm左右37cm 鉢/虹泉剣木瓜式

◆複数の幹で構成された多幹樹形の橘もどき。幹や枝がバランス良く広がって雄大な景色を創出しており、七点飾りのハネ出しや三点飾りなどに重宝する。



**[10] はまひさかき**

上下20cm左右35cm 鉢/昭山八角

◆温暖な地域に自生する常緑樹。小品盆栽ではあまり見られない珍樹種。



◆たく発達した根張りから力強く立ち上がる幹の迫力が秀逸。過去、国風盆栽展や雅風展の小品飾り席にも使われた逸品。

**[11] くちなし**

樹高19cm左右30cm 鉢/鴻陽精円



**[13] 真柏**

上下16cm左右40cm 鉢/和長方

◆立ち上がりに背負った複数の爪ジンとシャリ幹が、真柏自生地の厳しさを巧みに表現。持ち込むほどにさらなる風格を備えるだろう。



**[9] 真柏**

樹高17cm左右27cm 鉢/杏興長方

◆渦巻状に変化するシャリと水吸いの芸を正面側に見せ、真柏らしい厳しさと造形美を引き出した作品。芸味を強調するように細かく分けられた枝棚の組み合わせも見事である。



**[12] 香翁染付・色絵長方鉢一对**

染付：左右9.2cm奥行7.7cm高3.3cm

色絵：左右9.2cm奥行7.7cm高3.5cm

◆同型・同寸で染付と五彩で草花の意匠が描かれた作品。香山の落款が捺された専用の木箱とともに継承されており、数寄者による特注品の可能性が高い。落款：香翁（2点とも）

